



議会だより

平成20年度決算2p

9月議会補正予算.....4p

賛否表6p

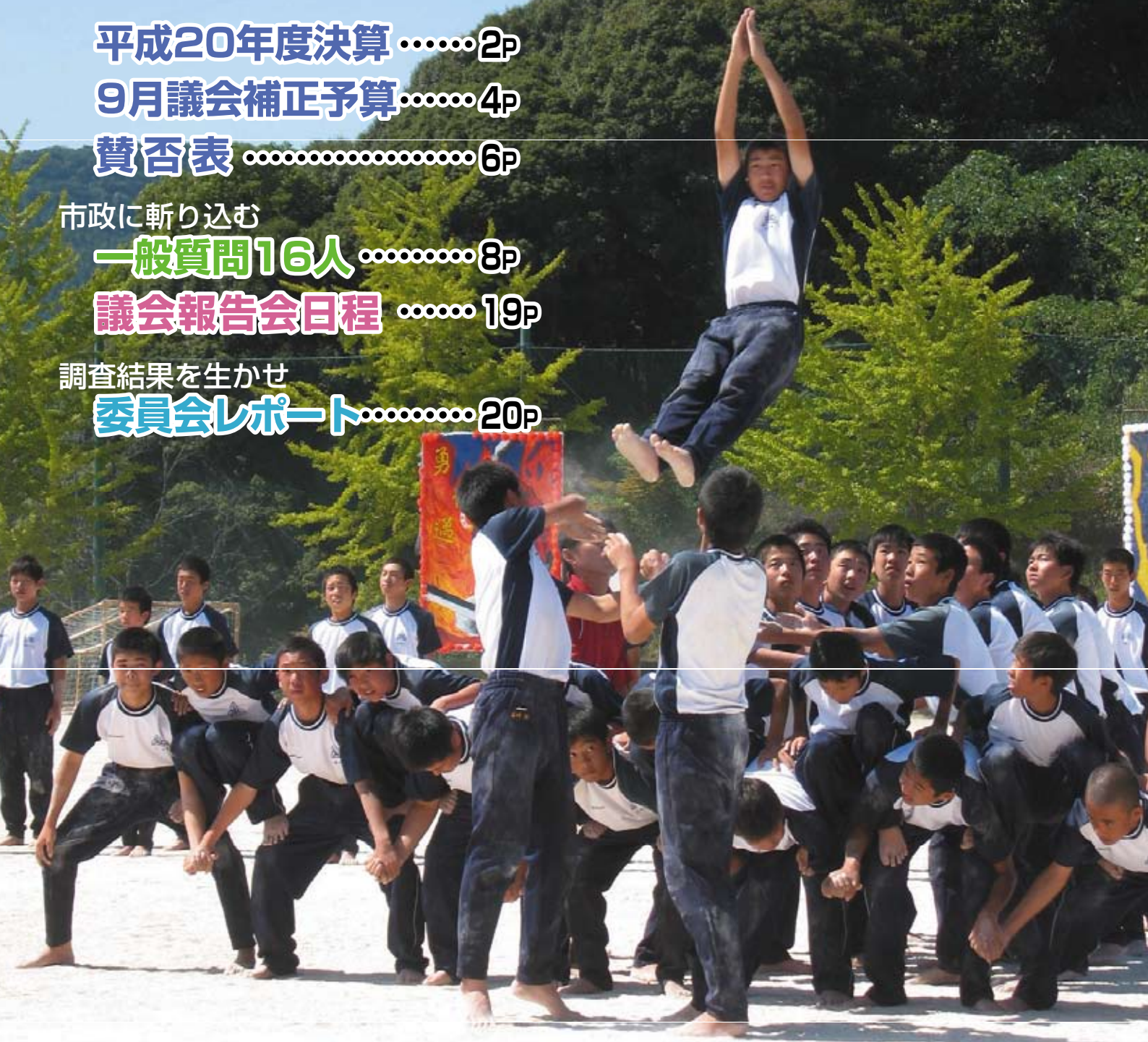
市政に斬り込む

一般質問16人8p

議会報告会日程19p

調査結果を生かせ

委員会レポート.....20p



平成20年度 特別会計 決算 認定

一般会計決算

継続

9月議会に提案された平成20年度一般会計決算認定については、「一般会計特別委員会」を設置し、9月14日から4日間担当課からの説明を受け審査しましたが、会期中の委員会日程では十分な審査を完了することができなかったため、閉会中の継続審査といたしました。

平成20年度嬉野市の7つの特別会計と水道事業会計については9月14日から3日間、各担当部課から提出された資料により、審査をおこないました。

今日の経済状態が低迷するなか、本市の財政も厳しい状況ですが、各特別会計決算は目的とする事業遂行を適正に処理されていることを確認し、認定しました。平成20年度嬉野市の7つの特別

ペットボトル事業は適正な生産をはかれ

水道事業会計

水道事業については、漏水調査などにより、20年度の有収率は上がっていたが、収入未済額が増加傾向にあるので、今後尚一層の徴収促進に向け、努力をお願いします。

また、ペットボトル事業については、備蓄量・販売量・使用量のバランスを考慮して、1本でも廃棄処分を少なくするよう適正な生産をするべきです。



▶さらなる活用が望まれるペットボトル水

対象者にわかりやすい説明を

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療については、徴収方法の制度改正が初年度内にあり、そのため、制度の周知徹底がされず、収入未済額が増えています。

その対策として、対象者などへわかりやすい内容説明が必要です。

決算総括意見

各特別会計ならびに水道事業会計の予算執行においては、目的とする事業遂行を適正に処理しているものと判断しますが、当初予算に対し調定額（決算額）が乖離した部分と節間流用で対応された部分が散見されます。

今後は、極力補正で対応するべきです。

各事業とも日常生活において密接にかかわる事業であるため、事業にかかわる職員のなお一層の努力を期待します。

区画整理の保留地処分の推進を

第七・第八土地区画整理事業

第七・第八土地区画整理事業の決算については、適切に処理されており認定しましたが、今後平成23年度の事業完了に向けて保留地の処分についても早急に対応していく必要があります。

人間ドック・脳ドックの枠の拡大をはかれ

国民健康保険特別会計

国民健康保険制度は相互扶助の精神に基づき国からの負担金、補助金が運営の基礎となっていました。

また、保健事業の推進は、医療費の抑制につながるものと考えられるので、特に希望の多い人間ドック・脳ドックの枠の拡大をはかる必要があると思われます。

あわせて特定検診の受診率の向上に更なる努力が必要です。



▲新しい地主を待つ保留地

平成20年度特別会計決算額

単位千円

会計名	歳入	歳出	残高
国民健康保険特別会計	3,926,117	3,909,032	17,085
老人保健特別会計	371,849	366,816	5,033
後期高齢者医療特別会計	287,156	285,067	2,089
農業集落排水特別会計	685,155	680,886	4,269
公共下水道特別会計	353,254	342,604	10,650
嬉野第7区画整理特別会計	265,797	263,679	2,118
嬉野第8区画整理特別会計	216,509	214,774	1,735
水道事業会計	水道料金他	経費支出	残高
	760,161	723,072	37,089
	補助金他	償還金工事費他	留保金から支払い
	64,670	577,951	513,281

平成21年度 9月定例議会

9月定例議会が4日から25日までの22日間開催され、条例制定2件、条例の改正5件、21年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計、ほか特別会計補正予算6件、追加議案として、農業集落排水処理施設建設契約など2件について審議され、採決の結果原案どおり決定されました。

一般質問には16人が登壇し市政を質しました。

女性特有のがん検診推進事業に

584万円

国の経済危機対策における未来への投資に繋がる子育て支援の一環として、今まで受診率が低かった、女性特有のがん検診対象者に無料クーポン券を発行し、受診を推進する事業です。

子宮がん検診対象者が20歳～40歳の778名、乳がん検診が40歳～60歳の1048名でいずれも5歳毎の節目に対象者を設けています。

乳がんは集団検診のみですが、子宮がんについては集団検診（指定の日時）と市外にある9件の指定医療機関で10月1日～来年2月28日の期間に電話で予約してクーポン

券を使用し受診することができます。

そのほか女性特有のがん早期発見・治療のための分かりやすい婦人手帖を対象者に発行します。

無料クーポン券の発行という初めての事業で受診率50%以上を目指します。

食事の欧米化などで女性特有のがんも増加しており、早期発見が望まれます。

コミュニティ条例が制定される

嬉野市コミュニティ条例を制定しました。

現在嬉野市においては、各小学校区単位での「地域コミュニティ運営協議会」が順次設立されており、社会環境の変化（少子高齢化・市の財政難・災害時における地域の役割）に市民自らが身近な地域における課題を解決していくことを目指して進められています。



▲がん検診無料クーポン券の活用を

しかし、現在どこの地域においても、それぞれに取り組んでおられる事業もあり、新たな地域コミュニティの創設は、本来の趣旨とは違う方向に進む可能性もあり、コミュニティを住民がどのように理解し、推進していくのか、住民のコンセンサス（合意）を得るには相当長い時間が必要であると思われる。

市道に架かる15メートル以上の橋の耐久性など、点検・調査をするための事業に予算が盛り込まれました。市内には大小600ほどの橋がありますが、今回、対象となるのは塩田地区で15カ所、嬉野地区に36カ所の合計51カ所で、嬉野地区においては10年前に点検がおこなわれていました。

この調査結果を国交省のデータに組み込ませることにより、橋の寿命を計算し、全国的な「長寿命化修繕計画策定」をおこなうことができます。橋りょう点検について

この橋は大丈夫か 橋りょう点検

940万円

は、目視点検とすることで、はたしてそれだけで十分な耐久性が調べられるか疑問も残ります。その点まで考え慎重に

対応すべきだと思われます。



▲諸津橋（下野地区）

れていた汚泥をコンポスト化して資源として再利用可能にできる施設が併設されます。

この処理場用地については4地区の汚泥が集められるため、地区の方から、悪臭などが危惧され、決定するまでに大変な時間と労力が費やされまし

た。

今後は製品化されたコンポスト堆肥の利用方法や、悪臭を極力ださない工夫などを注視していく必要があります。

農業集落排水処理場

いよいよ工事へ

3億1075万円

嬉野市内における下水道事業は、嬉野地区においては公共下水道事業、塩田地区においては農業集落排水事業によりそれぞれ進められてきました。

塩田地区においては美野地区・上久間地区・馬場下地区ですでに稼動し

ており、それぞれの地区において処理場が作られていましたが、処理した汚泥は、外部に委託して処分しており、多くの費用負担となっていました。

今回整備が進んでいる五町田・谷所地区の処理場には、今までに処分さ



▲污水处理施設建設予定地（谷所地区）

出産一時金と

子育て応援特別手当に

3010万円

今回安心して出産してもらったための出産育児一時金の引き上げが暫定的ではありますが、平成23

年の3月まで施行されます。

現在38万円の支給が42万円となり、また支払方

法についても、原則として国保組合から直接医療機関へ支払われますので、出産費用を準備する必要がありません。

また、子育て応援特別

手当として、これも平成21年度の単年度だけです。3歳から5歳までの幼児にたいして、一人あたり3万6000円が支



▲子育て支援センター（総合支所）

給されます。

今回緊急的な少子化対策としてだされた補正予算ですが、一時的な少子化対策ではなく、将来に安心して子どもを生み育てていけるような法整備や、地域全体で子育てを応援していく、社会環境を整備していく必要があります。

嬉野市内の小中学校に

軽トラック11台を配置

937万円

用務や学校内の敷地清掃業務、及び学校行事などにおける車の使用に個人の車を使用しているこ

とが、安全運転管理上や費用弁償などの問題で指摘されていましたが、今

回、国の経済危機対策臨

時交付金を活用しての購入となりました。

今回の購入により幅広く活用されることを望みます。

市民の声を市政へ反映させ、諸問題の解決や実現のため、今議会へも請願2件・陳情3件がだされました。

請願については所管の常任委員会へ付託し、陳情の主旨については全議員へ報告されました。

みんなの声を市政へ

陳情

下宿区内国道34号線十字路口交差点「宮崎モータース」の横断歩道設置・信号機設置並びに宅地への乗り入れ口拡幅を

陳情者

下宿区区长 野辺田 晋
他3名

金松共同茶工場より井上宅までの路肩崩壊修理拡幅を

陳情者

上石屋区区长 田中 正春
他5名

シルバー人材事業運営に関する要望書

陳情者

(社) 佐賀県シルバー人材センター連合会
会長 山口 雅久
嬉野市シルバー人材センター
会長 大曲 榮

賛 否 表																							
	番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	18	19	20	21	
	結 果	表 決 数	小田 寛之	大島 恒典	梶原 睦也	秋月留美子	園田 浩之	副島 孝裕	田中 政司	川原 等	織田 菊男	芦塚 典子	神近 勝彦	太田 重喜	山口 榮一	野副 道夫	副島 敏之	田口 好秋	西村 信夫	平野 昭義	山田伊佐男	山口 栄秋	
地域コミュニティ条例	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度一般会計補正予算（第3号）	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	18:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
平成20年度後期高齢者医療特別会計決算認定	認定	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
佐賀県後期高齢者医療広域連合への意見書	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
プルサーマル実施延期を求める請願	不採択	6:14	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	
農業集落排水処理場建設工事請負契約の締結	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成 ●は反対

請願

陳情

意見書

請願

地方財政の充実・強化を求める

・請願者

自治労佐賀県本部

・紹介議員

執行委員長 宮島康博
山田伊佐男

採択しました

意見書を提出しました

医療、福祉分野の人材確保をはじめとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の再興、環境対策など今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2010年度地方財政計画、地方交付税額の規模を拡大し、増額すること。国・地方の税収配分5対5を実現する税源移譲、地方消費税の充実、国の直轄負担金の見直し、また、雇用対策関連交付金などに相当する額を、交付税措置に恒久的に取り入れ、自治体が安心して雇用対策に取り組める環境整備と、景気対策を通じて拡大する公共事業に對して、地方負担を増加させない十分な財政措置を講じること。

嬉野市議会

内閣総理大臣

鳩山由紀夫様

内閣官房長官

平野 博文様

総務大臣 原口 一博様

財務大臣 藤井 裕久様

経済産業大臣

直島 正行様

経済財政政策担当大臣

菅 直人様

請願

「玄海原子力発電所3号機でのプルサーマル実施延期を求める意見書」の採択を求める

・請願者

NO!プルサーマル佐賀ん会

共同代表

伊藤正樹

武富泰毅

野中宏樹

畑山敏夫

満岡 聰

吉森康隆

・紹介議員 山田伊佐男

不採択

付託された総務委員会では請願者からの事情聴取をおこなうとともに、九州電力からプルサーマルについての説明を受け、双方から聞き取り調査をしました。

また、原子力発電所に出向き、慎重に審査をおこないました。

しかし、プルサーマルの実施については、すでに国の安全審査も通過し

ており、また、地元の玄海町、唐津市、佐賀県も実施については承されていますので、不採択としました。

後期高齢者医療広域連合へもの申す

意見書を提出しました

市町が徴収すべき保険料と改正すべきだ

平成20年度から施行された「後期高齢者医療制度」は佐賀県内の全市町が構成する佐賀県後期高齢者医療広域連合が事務事業をおこなっている。規約に定めてある「市町が徴収した保険料の実額」が広域連合では収入財源となっている。しかし、徴収した保険料の実額は年金天引きを原則としたものであり、今後増えるであろう普通徴収への移行と徴収率の低下を考えれば、「市町が徴収すべき保険料」などと改正すべきである。

嬉野市議会

佐賀県後期高齢者医療広域連合長
横尾 俊彦様

一般質問に16人が登壇

お茶の間で議会を

時間：質問当日の午後7時～

質問日時については、議会事務局におたずねください。

TEL 0954-66-9127

市政へ斬り込む

問 電話一本の営業所も入札の指名資格があるのか
園田 浩之 議員

答 6月以降おこなっていない



園田 古湯温泉の建設の下請と資材発注はできる限り地元業者を使うようにと強く要請、要望をしたが、実態はどうか。

産業建設部長 まず建設主体工事は8業種の12業者のなかで2業種2業者

が市内業者への発注が予定をされて、電気工事は3業種3業者中、1業種1業者が市内業者に予定されている。

機械設備工事は2業種2業者中、価格の点と市内業者がいらない理由で、いずれも市外業者である。資材調達も、生コン以外については市内調達物がないため、現在市内からの調達はない。

園田 下請工事で12業者中、地元の業者は2業者ということは、市内の業者が少ないためか。

建設課長 確かに少ないことと、もう一つは、見積価格で下がられたことと、一様に言えない。

園田 前回の質問でも申ししたが、あまりにも下請の金額が安いと、作業が雑になったり、作業の手抜きになることも考えられるので、適正な下請単価の十分なチェックをしていただきたい。

6月の入札で公会堂の便所改修工事で落札された元請業者の事務所は、何人勤務されていたか。

産業建設部長 6月に議



▲下請けは地元業者と言ったのに

員から質問があった日に確認に行ったら、電気がついておらず、従業員はだれも居なかった。

現在は2名の常駐だ。

園田 いわゆる転送による電話一本の営業所で、そのようなところも指名の資格があるのか。

市がおこなう入札の元請資格はどのような形で精査され、指名をしているのか。

産業建設部長 転送等の実態ではまずいということとで、単独での指名推薦は現在のところはそれ以降はまったくおこなっていない。

園田 固定資産税・市民税も嬉野市に納税している元請と、そのような電話一本の指名の資格とは異にしたい。

産業建設部長 今後も引き続きそのような態度で推薦をしていきたい。

園田 市内の業者が元請になると、当然市内の下請業者の件数も多くなるのは当たり前のことだ。今後は厳格な精査とチェックを強く要請、要望する。



問 部長制を廃止し職場の再構築をせよ

答 組織の中枢の管理職に期待している

平野 昭義 議員



▲部課長自ら意識改革を

部制を廃止して、経費削減で若年層を充て、活気に充ちた職場を再構築すべきだ。

市長 行政サービスは評価されている。

平野 部長制を廃止して、経費削減で若年層を充て、活気に充ちた職場を再構築すべきだ。

市長 職員が削減されていくなか、内部業務と外務業務の連携を図りながら努力している。

平野 総務省の通知では、「社会情勢の変化に対応し、ニーズに即した施策を機動的に展開し、従来のあり方に捉われず企業感覚の経営を」と記している。

部長制を廃止して浮いた経費で若年層に力を入れる対策を考えられないか。

市長 高年齢層の方が相当おられ、経費の偏りが暫らく続くと考ええる。

部長職の十分な活用によって今の嬉野市政があると考えている。

平野 朝礼は、中小企業では常識としておこなわれているが、市役所では必要ないのか。

市長 情報伝達組織によ

職員との連絡はメールで、また、週に一回各課で皆に話をしている。

社会体育館建設問題

平野 塩田町の住民に悔いのない判断のもとに早急に決断を。

市長 委員会での協議終了後、所定の準備をしてから議会で審議していただく。

塩田中学校問題

平野 学校問題検討委員会では、建設場所は現在地と報告されている。実施計画を市民に公表していただきたい。

市長 合併特例債を利用しないと学校建設は厳しいので、27年度までに完成したいと考えている。

久間工業団地問題

平野 進捗状況と今後の事業計画は。

市長 農工法による申請書を作成中で、農地関連の許可に時間が必要となる。

道路の協議は企業進出を努力していきながら検討したい。

問 次期市長選への思いは

野副 道夫 議員

答 出馬する決意である



野副 平成18年1月1日両町が合併し初代市長として谷口市長が就任され、厳しい財政状況のなかで、古湯温泉の再生他数多くの実績を残された。来年1月は市長も任期満了となる。

次期選挙に立候補される意思はあるのか。

市長 立候補し、次世代にすばらしい嬉野市を引き継ぐため努力したい。

野副 出馬するという意思が表明されたが、夢の実現に向けて、3万市民のリーダーとして思い切った施策が必要と思うが。

市長 市民本意の立場に立って努力すれば道は開けると思っている。

学校区再編の考えは

野副 今日の少子高齢社会のなかで、子どもは激減している。

校区の再編は困難を極める問題であるが、避けて通ることはできない大きな問題だと思うが。

市長 教育効果の観点から、学校区のある方を考えていくのが適切であると考ええる。

教育長 小・中学校の再編成や統廃合は、全国各地の自治体にとっても大きな教育行政の課題となっている。

市にとっても、児童・生徒が確実に減少していくなか、学校の再編については避けて通れない教育問題と受けとめている。



▲出馬表明する市長

問 大草野小卒の中学進学は

田口 好秋 議員

答 一つの中学へ進めばメリットが多い 今後検討する



の推進等々、この問題を早期に解決したほうが子どもたちにとって良い結果を生むと確信する。全員が嬉野中へ進めるよう問題提起をする時期と思うが。

市長 全国にもまれな大草野益成会が組織され、地域と学校の深い連携がある地域である。以前から、中学校を卒業してからの地域でのかわりが、同一中学校でないために疎遠になってしまうので、解決策をという意見も聞いている。いずれ解決しなければならぬ問題と認識しているので地域の皆さんの意見を聞く。

教育長 卒業生は年々減少している。大体3分の2が嬉野、



▲五代から見た大草野小学校

野副 耐力が減退した塩田3小学校、谷所分校を含めて何年ぐらいいまでに校舎の建築をしなければならぬと感じているか。

教育長 今後、真剣に慎重に考えて、塩田中学校の開校が27年度であることから、その前後ぐらいいには計画を出せるのではと思っている。

環境問題について

野副 地球温暖化は、私達が体感できるまでになつてきた。

政府は全国の公立小中学校に対し、2012年までに1万2000校に太陽光発電パネルを設置する計画を発表した。当市の取り組み状況は。

市長 今年は各学校に太陽光発電を設置し、子ども達の温暖化に対する意識づけを目指す予定である。

教育長 大型パネルの設置については財政の問題もあるのですが、市長部局とも相談して検討したい。

問 介護支援ボランティアの導入を

梶原 睦也 議員

答 広域での取り組みが実現しやすいのでは

ている。

梶原 そういったなかで宅老所などへの支援が必要では。

市長 制度などを紹介し協力したい。

梶原 現場の声をよく聞き支援していただきたい。独居老人や認知症の方への支援は。

福祉課長 愛の一声運動や緊急通報システムなど

で対応している。認知症の方へは介護制度のなかで対応する。

梶原 元気に生活されている高齢者の方には、介護ボランティア制度の導入を考えられないか。

この制度は、簡単に言えばボランティアで得たポイントを介護保険料や介護サービス料に充てることができ、高齢者にとっても、自分自身が社会貢献することによって生きがいを見出すことができる。

また、体を動かすことによつて健康にもなる。市としてもたいした費用もかからず医療費削減にもつながる。

一石二鳥、三鳥の制度と考えるが。

市長 高齢者の方が地域で生き生きと暮らしているために、さまざまな対応が必要なので、ぜひ研究をしたい。

嬉野市での介護保険の取り組みは杵藤地区広域圏でおこなっており、広域圏での取り組みが実現しやすいと考える。

肺炎球菌ワクチンの助成を

梶原 新型インフルエンザが猛威を振るっている。高齢者はインフルエンザにかかれば肺炎を併発し重症化するリスクが高い。



▲生涯青春ですよ（大野原）

通学距離の部分では、所要時間が少なくなり交通事故などの問題もかなり解消できると思われる。今後一つの中学校に進学できるようになると、多くのメリットがあると考えているので、発足した地域コミュニティ運営協議会に提案し検討したい。

田口 見直しを考えている校区は他にあるか。

市長 校区が距離的に離れているため、現在の校区の変更について地域からの意見はない。

教育長 少子化が進んでいるが現在のところはな

本市においても肺炎による死亡がかなり高くなっている。

ぜひとも、高齢者への肺炎球菌ワクチン助成を

望む。

市長 効果については充分承知している。県と協議をしながら取り組めるよう努力する。

問 水防・災害対策は

芦塚 典子 議員

答 災害防止に努めていく



芦塚 7月の豪雨のあと、河川の点検はされたか。
建設課長 河川の緊急点検はしていない。
芦塚 花立水路が氾濫し、浦田川流域のみならず広場は浸水したが対策は。
市長 水路の拡張と排水

機場の稼働をあげていくことを検討していく。
芦塚 塩田川の堤防の危険箇所はないか。

市長 布手地区の河川堤防は補強の必要があり、今後整備をおこなう。

芦塚 唐泉橋から下流は旧堤防で、特に日吉井堰の下流は狭まって今後決壊の危険がある。

強化する必要があるが。

市長 県と一緒に改修に向けて努力していきたい。

芦塚 平成2年の水害は、大潮のため八幡川を逆流して塩田津が浸水したが、樋門に逆流防止装置が必要だが整備は。

建設課長 県と打ち合わせをしていく。

芦塚 今までの水害は豪雨と大潮と重なって被害が大きくなっている。大潮に対する対策は。

産業建設部長 県に対策を要望していく。

塩田中学校建設は

芦塚 塩田中学校の建設はどのように。

市長 改築の方向で合併特例債が利用できる期間に完成させたい。

問 塩田中学校の改築を急げ

神近 勝彦 議員

答 市議会の最終報告を待つて決定したい



神近 塩田中学校を改築するにあたり、何を一番重要と考えるのか。

市長 建設候補地の問題である。

神近 いろんな意見があるが、現在地での建設には反対である。

また将来は3つの小学校の統合が必要となると思う。

その時は子ども達の安心・安全を確保するためスクールバスが必要となると思うが。

教育長 学校施設等検討委員会でも、場所や学校

再編の調査検討をいただいたが、議会の学校問題特別委員会の最終報告を待つて、最終決定をおこないたい。
スクールバスは当然必要と思う。

塩田中の水溜りをなくせ

神近 水はけが悪く、水溜りもある。

トレンチを掘って暗渠排水を設置すべきである。

財政課長 水溜りの原因は、暗渠が詰まっている可能性が高いとのことであった。

神近 調査はしないのか。
市長 早速指示をして点検する。

塩田川の水質改善をはかれ

神近 塩田川は葦の刈り取りや撤去もされないため景観が悪い。

市長 再三にわたり、写真を撮って鹿島土木事務所に要請している。

必ず取り組んでもらうよう努力する。

神近 以前からすると水質は改善されたが、河川で泳ごうとは思わない。

一般家庭の下水道接続が急務でないのか。

市長 皆様方と協議して、

河川浄化に市を挙げて努力していきたい。

神近 処理場の維持費を考えると井手川内から下岩屋まで早急に整備すべきと思うが。

産業建設部長 基本構想は見直しがあり、現状で取り組みやすいのは、第八区画整理からと思う。

神近 大村市では工事に對する融資制度がある。

本市でも取り組むべきと思うが、どうか。

市長 ぜひ、導入できるように指示をした。



▲改築が待たれる塩田中

芦塚 塩田小学校は改築の予定か。
市長 基本的には改築というところで、今年度は耐力度調査をしている。
芦塚 少子化や学校の教育問題と学校建設との関係は。

教育長 学校建設においても少子化と学校の統廃合や小中一貫を絡めて議論していく必要がある。

芦塚 統合の方法は。
教育長 地域住民の理解を得るよう、様々な角度で検討していく。

芦塚 建設の場所は。

教育長 安心・安全な場所と市民の避難に耐える場所、平成27年に開設できる場所を考慮し、議会の特別委員会も参考にして最終判断をしていく。

芦塚 現在地は遊水地で大水の場合は浸水する。

昔は小学校、役所、公会堂は工業高校の高台にあり、塩田津の歴史、形状など勘案して建設場所を検討して欲しい。

教育長 意見を参考にし最終結論をだしたい。

問 定住促進条例の見直しは

副島 孝裕 議員

答 12月議会に提案したい



副島 急速に進む本市の人口減少をどのように分析しているか。

今後の具体的な対応策の検討は。

市長 一番の原因は少子化であり、すでに自然減の時代に入っており、出

生人口より死亡人口が多くなっている。

具体策として、子育てしやすい環境づくりに心がけ、さまざまな制度は他の自治体以上のものがあり、子育てするお母さんが安心できる地域にしたい。

副島 昨年7月、定住促進条例が施行され、初年度8件28名の転入者があり、今後人口減少の対応策として期待されるが、交付の対象者が転入者に限定されており、条例の内容や交付期間の見直しが必要と思うが。

市長 現在、問合せを含め68名の転入が予想され、成果が上がっている。

以前からの定住者や、賃貸を利用して定住を希望される方などへの交付を含めて、12月議会に提案できるよう検討したい。

副島 定住促進の成功策として「のぞえ団地」があるが。

企画企業誘致課長 平成6年度計画を立ち上げ、



▲定住促進が進む野崎団地（太良町）

「住宅団地」について

副島 定住促進策として、奨励金制度と合わせて、住宅団地の造成をはかる必要があると思うが。

市長 持ち家制度推進で、市営の団地開発には時間がかかるので、宅地の課題を解決する方法として、意欲を持って団地を開発する関係業者への支援を検討したい。

その他の質問
・定住自立圏構想について

問 観光客数増加に向けた目標と具体策を示せ

田中 政司 議員

答 年間200万人を目標に考えている



市長 観光客の50割が県内・福岡都市圏という数字から、福岡都市圏へ集中的な働きかけをおこないたい。

旅行情報誌の情報が予約客増に一番効果があるようなので、ターゲットを絞って引き続きPRをおこなっていききたい。

観光協会では旅行代理業を取得するための努力をしていたりしている。ぜひ取得していただき、市も一緒になって嬉野独自の旅行商品を発売できるようなシステムとマン

パワーというものを確保していきたい。

田中 観光客誘致に向けては、市民と一緒に頑張って取り組むことも必要。

市内の各商店や個人では、嬉野特産の「お茶」や「温泉湯豆腐」などが、全国の消費者へ向けて発送されている。

その中に宿泊割引などの「特典つきパンフレット」を同封すれば、市民と一緒に作った観光客誘致ができるようになるが、そういうパンフレットを作成してはどうか。

市長 早速、観光協会あたりと話をさせてみたい。

嬉野茶の振興策について

田中 嬉野茶の消費拡大に向けた取り組みは。

市長 消費拡大が急務な

ので、市で作成した一煎パックなどを積極的に配布しPRしていきたい。

田中 お茶の消費を長期的に考えた場合、子ども達にお茶を飲む習慣をつけさせることが大事であるし、風邪やインフルエンザの予防にもお茶は効果があるとされている。

市内の学校全部に給茶機を取り付けるべきだ。

市長 茶連より寄付を受けているので話をしてみたいが、無理だとすれば市で予算が組めるか検討していきたい。

田中 不動山などの機械化できない地区では、玉露など高級茶の生産による収益向上策をはかることも考えなければならぬ。

施設費などの援助策は。**市長** 生産不利地域で頑張っておられるのは十分承知している。

協力する方法はあると思うので、話を聞いていきたい。

その他の質問

・轟地区の区画整理について



▲玉露の里を目指して（上不動）

問 自治会未加入世帯問題は

太田 重喜 議員

答 行政嘱託員会を通じて加入促進の努力をする



太田 行政区への加入率は。

市長 嬉野町は80・6割、塩田町はほぼ100割。

太田 農林部では公役による道や水路の管理、全町的には、街路灯の設置と維持管理、ゴミ箱の設

置と維持管理等々に地域住民は力を出し合っている。

地域コミュニティ構想を進めるためにも加入率を上げるよう努力せよ。

中学校の武道場は

太田 平成24年度から中学校で武道が必修となると聞くが現在の武道場は。

教育長 塩田中302、嬉野中309、吉田中294平方メートルとなっている。

太田 武道場新改築計画と国・県などの補助は。



▲地域での草払い作業（上岩屋）

教育長 嬉野中は700平方メートルを予定し、塩田中は新校舎を作るときにと考えている。

吉田中は現面積でもいいけると思うが、古いので建て替えも視野に入れねばと思っている。

補助は、国50割と県産材で作れば県40割の合せて90割の補助がある。

観光問題について

太田 市内には知られていない、活用されていない観光資源が多々眠って

いる。

山口県では、これも観光の対象になるかという位に現在ある観光開発が進められている。

市内の巨木・銘木マップが農林課に置いてあっても活用できない。

観光商工課長 指摘を受け今週から観光課窓口にも置いている。

太田 マップに記載されていないもので、大野原宇坪・広川原の榎の大木・広川原の明日松・春日の桂など巨木があるが。**市長** 調査させていた

農林課長 いろんな所から銘木の情報をいただいているので、再度チェックし再編をしていく。**学校教育課長** 総合学習のなかで、あるいは生活科のなかで取り組み、発表の場もある。

その他の質問

・林業問題（ネーミングライツと作業路網について）

問 駅開業効果を挙げるための事業推進を

大島 恒典 議員

答 関係者へ丁寧に説明をおこない理解いただく



大島 新幹線の開業効果をだすため、周辺整備事業を早急に進める必要がある。

3月に出された基本構想の市民への周知は。

新幹線整備課長 市民の方には回覧版、関係地区

においてはふれあい対話集会の折にパンフレットで説明している。**大島** 事業の進め方については構想のなかで、3通りが示されていたが。

新幹線整備課長 駅前整備としては区画整理事業、交付金事業があるが、これから意向調査などおこない基本計画をつくっていききたい。

市長 嬉野地区において区画整理事業は理解されていると思うが、地権者には減歩などの問題があり時間がかかると思う。

スピードアップをはかるとすれば別の事業も考えていく。

大島 計画地区は優良農地である。

早急に地権者の意向を集約し、無秩序な開発にならないようすべきだ。

市長 基本的に地域の環境をできるだけ壊さない開発を考えている。

大島 駅の開業効果を引きだすためには事業の進捗率が課題だ。**市長** 関係者の皆さんに丁寧な説明をし、理解をいただいていく。

公共下水道について

大島 第一次供用地区において3年が経過した。現在の接続率は。

市長 早期加入の特例が切れた地区において、50割である。

大島 3年以内に接続された方は比較的条件に恵まれた方と思う。

今後の対策は。**環境下水道課長** 接続推進員の雇用をお願いしている。

戸別訪問での接続のお

願いと意向調査等を実施していきたい。

大島 子供たちに下水道事業の大切さをわかってもらうために浄化センター内に親水公園など必要だと思うが。**市長** 施設的にはできていないが、各学校などにお願いで重要性をPRしていきたい。

大島 以前より塩田川の水質は改善しているが、観光地として、特に河川の景観及び浄化には積極的に取り組むべきである。



▲川へ（下宿付近）

問 中山間地域直接支払い制度の継続を

西村 信夫 議員

答 国に要望する



長会でも要望しており、国にも要望をおこなう。

西村 塩田地区の中山間地域は。

産業建設課長 鍋野・五代・長谷・光武・堤ノ上・黒木・西山・藤原地区。

西村 本市の中山間地域直接支払い制度の対象地域と交付金の使途は。

市長 市内で49地区が対象地域として活動している。

産業建設課長 交付金の使途は、水路、農道の維持修繕工事、共同機械の購入、共同施設の整備など、その他、公民館の建設費も考えている。

西村 第3期2010年からの中山間地域直接支払い制度の取り組みは。

市長 今後も継続されるよう、県市長会、九州市

の移動時に必ず消毒、体調の変化を感じたら早期に医療機関への受診を呼びかけている。

西村 児童、生徒が新型コロナウイルスに感染した場合、休校や学級閉鎖についての考えは。

教育長 休校や学級閉鎖をおこなう目安として、インフルエンザ症状が出ている子どもたちの欠席状況が、10割から15割確認された場合、本市も適用する。

西村 中学校で感染者がでた場合、塩田中学校の修学旅行は。

教育長 状況を見て、感染していない子どもに對して実施する。

最終的には、保護者の意見を聴取しながら学校長が判断すべきだと考えている。

西村 市民の感染防止策として、マスクの世帯配布の考えはないか。

市長 世帯配布は検討していない。



▲中山間地を守れ

問 近隣市町との公共施設相互利用を推進せよ

川原 等 議員

答 先方の条件を伺って検討したい

ターエイブルの施設を、お互いの市町民が、地元の料金にて利用されている。

嬉野市も来年4月オープン予定の古湯温泉を利用して、鹿島市と白石町の協定に参加できないか。

市長 古湯温泉について検討したが、近隣に民間の同類施設があり、そう言う点での競合はできるだけ避けたい。

肥前吉田焼と志田焼の里博物館での焼き物体験

川原 鹿島市と白石町（旧有明町）は、平成13年に公共施設の相互利用について協定書を交わされている。

白石町では有明スカイパークふれあい郷の施設、鹿島市では生涯学習セン

などについては、鹿島市、白石町は無いので提携できればと考える。

川原 他の地区から見たら嬉野は温泉である。

嬉野のことを近くの人達に知ってもらうことがまず第一であり、旅館・ホテル・食事処を分かつてもらえる。

そのようなことを考えると、市内に人を呼び込む手段は古湯温泉が一番である。

市長 現在のところ、古

問 H23年鹿児島ルート開通に向けての観光客誘致対策は

秋月 留美子 議員

答 あらゆるものを活用して売り込んでいく



秋月 平成23年の九州新幹線鹿児島ルート開通で鹿児島は現在の2倍の観光客を予想しているし、長崎は200億円を目指

している。

開通に伴い設置される佐賀県唯一の新幹線駅である新鳥栖駅を利用するの関西・中国地方からの観光客誘致対策は。

市長 西九州地域の観光情報を掲載していただくよう、鳥栖市長にお願いしている。

観光商工課長 9月・10月は大坂から鹿児島・長崎までの高速バスにパンフレットを入れてのPRや、10月の大阪フェアでは県の観光連盟や市町と一緒に湯豆腐や温泉など県内の観光の宣伝をす



▲CO²ゼロのペロタクシー

る企画をしている。

そのほか各エージェン

トとのタイアップやトッ

プセールスなど、あらゆるものを活用して嬉野温泉を売り込んでいきたい。

秋月 古湯温泉について、駐車場までが結構遠いという声をよく聞くが、送迎にドイツで始まったエコカーのペロタクシーを導入してはどうか。

フランスでは「ループル美術館までペロタクシーで行こう」や富山のLRTもその乗り物自体が観光そのものであるという考え方、九州では佐賀県だ

置を考えているなかでの電気式乗り物を配置できればと考えている。

ファミリーサポート事業の取り組みを

秋月 県内では10市中7市がすでに取り組んでいる事業で利用者が一時間に付600円ほどをサポートに支払い、家事・子

どもの送迎などを依頼する相互登録制で、自治体の補助がある市もある。

子育て支援センターが大いに利用されており、次はファミリーサポート事業が必要だが設置は。

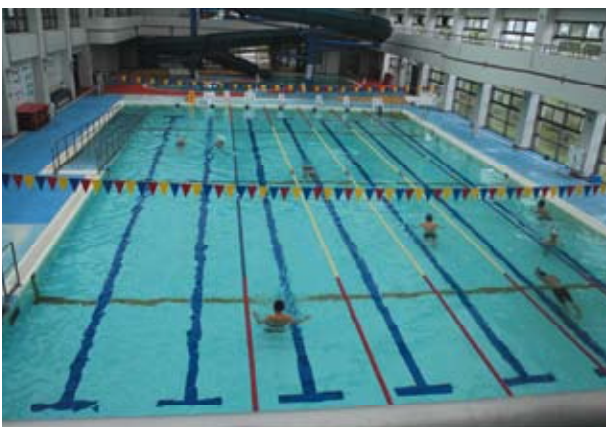
市長 市次世代育成支援地域行動計画の前期計画（24年）の以前にはつくれるよう努力したい。

そうであれば、今のルートではなく、樋口病院の駐車場に出てくるルートでの整備をお願いしたいが。

市長 歩道の整備ができ

るといふ見込みがあつて今まで進めてきているので、地権者のご協力をいただければと思っている。

県と地権者での協議を引き続きお願いしていく。



▲有明スカイパークの温水プール

問 長崎街道の橋の工法と 早急な整備を

山口 榮一 議員

答 前向きに検討していく



山口 数年前に湯野田公民館前の長崎街道の橋について測量設計委託費として512万4000円を投じて設計がされている。

4年経ってもそのままだが、工法についてと早

急な整備を。

建設課長 工法については現在の橋をそのまま残し、下流側にPC桁を2本並べ、景観上阻害にならないような形のなかでの工法を考えている。

幅員についても大体5メートルから5.5メートルは取れる設計内容である。

産業建設部長 工事の時期については明確には難しいが、単独でせっかくあれだけの立派な設計書ができており、文化財的にも非常にめずらしい橋なので、今後の補助事業



▲改良が望まれる長崎街道のめがね橋

には乗れないが、前向きに検討していく。

山口 湯野田の木場入り口についても10数年前から拡幅のお願いをしているが、市長の考えは。

市長 国道34号線と市道の木場入り口の取り付けについては、地権者の了解ができれば取り組める。国道の拡幅工事の仕上げ段階でも、こういった課題があると国土交通省にも話をしているのので、地権者の了解をいただくよう努力する。

売茶翁史跡のその後は

山口 昨年9月に質問したその後の状況は。

市長 2カ所について確認をし、下野辺田地区については地権者の方も整備のご協力については理解いただいている。

五町田地区についてはお願いしていないので今後お願いしていく。お願ひしていく。事業という名称で、中期財政計画事業に計上し、予算獲得をはかっているが、予算獲得までは至っていない。

石柱あるいは説明板などの設置については早急に所有者等の理解をいただき取り組んでいきたい。

こども議会後の対応は

山口 昨年11月こども議会が開かれ、議員が答弁者となって開催した。

子ども達なりに一生懸命考え提案されたが、何か対応されたか。

市長 多くのすばらしいご意見をいただいた。発言について実現できるように努力する。

見直しをすべきだ。

市長 佐賀県総合事務組合の議会により決定されており個々に判断することはできない。

山口 事務組合条例の第四条により退職金の額が決定するが、その条例の見直しをすべきだ。

その他の質問

・新エネルギーの取り組みについて

議会報告会各会場実施日

	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日
嬉野公会堂	●			
轟小学校	●			
吉田公民館	●			
大草野研修センター		●		
嬉野中央公民館		●		
久間研修センター			●	
五町田研修センター			●	
実施時間（19:30～21:00）				●は実施日

こども議会開催が決まる

昨年に引き続き教育の一環として、こども議会が開催されます。

今回は大野原中・吉田中・嬉野中・塩田中の各中学校から18名の子ども達が出席し、市内のいろいろな問題に対して一般質問をします。

市議会議員が答弁者となつて開催されますが、議員もどんな質問がでてくるかわかりませんので、

楽しみな半面、答弁に対するプレッシャーもあります。

興味のある方はぜひ傍聴にお越しください。

日時

11月28日（土）
午前8時30分～12時

場所

嬉野市役所本会議室
（本庁3F）

初の子議員による議会報告会を開催

ました。

6月議会において、議員発議による嬉野市議会基本条例と嬉野市政政治倫理条例が制定されました。議会基本条例の中には「市民への説明責任と情報及び意見を交換するために議会は年1回以上の議会報告会をおこなう」としています。

早速第1回目の報告会を11月9日から12日の4日間開催することとなり

会場は7カ所で、初日の9日は公会堂で議員全員による報告会をおこなひ、10日以後は市内6会場において議員を2班に分けておこなひます。

初めての取り組みで思うような報告会ができるか不安もありますが、市民の皆さんの参加をお待ちしています。



▲全員協議会による熱心な討議

山口 景気低迷や合併の影響により、特に昨今、市政運営に対する不満、不安の声を多く聞く。

次期市政を預かる首長の責務は重大である。

再度、出馬の意向を明確にされたが、その決意を簡潔に述べていただきたい。

市長 出馬させていただくことで、今後支援をいただく方々と話を進めていきたい。

私の能力がある限り、全力で市政に取り組んでまいりたい。

山口 市政に対する市民の意見は、観光立市の嬉野として観光宿泊客の減に対する施策が不十分であるとの批判や、各会合やイベント参加など、動きはされてるが施策が総合的で何を重点的にこなうつもりか見えない。

無投票が続く市民の何割の信任があるのか判断できず、素早い対応ができていないなど、私は聞き及んでいるが市長はどのように思われているのか。

市長 観光状況の厳しいことは承知をしている。

予算的に不自由ななか、一生懸命やつてきた。

何とか努力をし、まず200万人台を目標に頑張っていきたい。

いろんな施策では、総合計画に基づいてすべて



▲市政の本拠地本庁全景

調査結果を生かせ!

委員会レポート

山口県・美祢市へ

地域のことを知り
観光プランの作成を

総務企画
委員会

嬉野市の観光産業は低迷が続いている。
これを打開するため、観光問題について山口県観光交流課と美祢市を調査した。

委員会の意見

「地旅」とは、観光プランを生み出す地域の力のことで、現在稼働している産業施設を観光プランとして組み込み、石灰岩を採掘している宇部興産専用道路を全長30超す巨大運搬トレーラーでの乗車体験、昼食は地産池消弁当の提供など、大きな人気を得ている。
観光プランを創るうえにおいて、考え方一つで観光に結びつくと思われる。

また、美祢市では、社会復帰支援センター（刑務所）を誘致され、受刑

者は男女合せて800名、警務官125名、市内内に住む118名、常勤・非常勤職員、外部委託職員などで678名の内、市内在住は259名、家族を含めると食材など地域に及ぼす波及効果は大きい。
地旅の考え方、刑務所を誘致された考え方、ともに発想の転換によって生み出されたものと思われる。
「観光甲子園」のコンテストで嬉野高校生が温泉や地域の魅力を発表され、優秀賞を受賞された。
今後、若い人たちの考えも市政に生かしていくべきである。嬉野市の観光産業は低迷が続いている。



▲観光プランの説明を受ける（山口県庁）

農商工連携に どう取り組むか

熊本県あしきた
農業協同組合へ

産業建設
委員会

熊本県あしきた農業協同組合のデコポンを使用した商品が初年度でありながら、本年売上10億円が見込まれている実情の調査をおこなった。

委員会の意見

今農産物の価格は低迷の一途を辿っている。
この状況を放置すれば

生産者の高齢化により、耕作放棄地の増加に拍車をかけることとなり、ますます農業者の生活を脅かし、災害その他マイナスイメージになる。

嬉野市においても農産物を使った商品開発はされているが、マーケティングの不足により、競合商品に埋没している。

安心・安全が求められている今、価格低迷をチャンスと捉え、農業者の



▲デコポン製品の説明を受ける委員

生活を守る立場から、行政も農協を指揮する必要があると思われる。

今後、あらゆる機会を捉え、商品開発・マーケティングの開発など、農協と行政が真剣に取り組まなくてはならない。

本市においても協議会あるいは研究会を立ち上げ、付加価値の高い商品開発、マーケティング開発に取り組まれるよう強く要望する。

民生児童委員協議会と 意見交換

文教厚生
委員会

嬉野市では一人暮らし高齢者や高齢化世帯、長引く不況のため就業できず、生活困窮者が年々増加の傾向がある。
現状の問題点を改善する必要があるため意見交換した。

委員会の意見

民生児童委員は、個人の情報を守秘することは基本であり、いかなる場合においても漏洩しないという決意を持って活動されている。

しかし、対象者の把握や状況などの情報収集活動をおこなううえで、個人情報保護法が情報収集の弊害をもたらしていることが指摘された。

隣近所や地区・地域と接点がない方々について

情報が収集できない場合があるので、どこにどういう方がおられるか分からないければ対応できない。対象者漏れが無いように、民生委員と行政が連携し、共有の情報を持つことが重要である。
緊急通報システムについては「安心・安全」の確保のため、待機者がなくなるよう早急な解消を望む。



▲待機者をなくせ 緊急通報システム

開かれた議会と議会
広報づくりに向けて

鹿児島県始良町へ

議会だより編集について第19回町村議会広報全国コンクールで優秀賞を受賞された鹿児島県始良町を視察研修した。

委員会の意見

始良町の議会だよりは昭和47年から発行されており、以前は事務局で編集されていたが、平成11年に旧嬉野町の議会だよりの編集方法を参考にし編集されている。編集にあたっての思い



▲よりよい広報づくりに向けての研修

一丸となって取り組み
嬉野の観光

去る8月24日、昨年に引き続き2回目となる嬉野温泉観光協会及び嬉野温泉旅館組合の役員の方々との懇話会が開催されました。

観光協会の事務局長から観光客数の年次別の報告をいただきましたが年を追うごとに減少しているのが現状です。

今の日本の経済状況を見たときに、すぐに観光客が上向くとは考えられ

るのが現状です。

ず、辛抱の時期が続くと思われませんが、こんなと

きこそ「チーム嬉野」一丸となりがんばる必要があります。



▲力を合わせて観光活性化

議長交際費支出状況

平成21年7月1日～9月30日

(単位：円)

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	0	0
御祝	3	23,400
会費	1	10,000
その他	0	0
計	4	33,400

御祝…公的性格を有する団体への支出

会費…上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費等

議会広報編集委員会

委員長 小田 寛之

副委員長 大島 恒典

山口 栄一

太田 重喜

秋月留美子

梶原 睦也